

2017年(H29年)

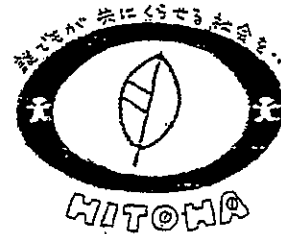
7月

No. 309

ひとはわらしん

(ホームページアドレス) <http://hitoha-fukushi.com>

(メールアドレス) honbu@hitoha-fukushi.com



社会福祉法人 ひとは福祉会

〒739-1203

広島県安芸高田市向原町長田1857番地

TEL (0826) 46-2960 FAX (0826) 46-7230

7月の暑さが、あの惨劇を思い出させることにもなるのですが、まもなく相模原津久井やまゆり園で起きた事件の日がやってきます。事件からの問いかけは、さらさらの人たちと活動を共にしながらいつも心に覆いかぶさってきます。

価値なき命とは何ぞ?

尊厳にふさわしい生活とは何ぞ?

生きてきた人生はいずこにありや?

我であること、我等であることとは如何に?

等々、最終的には人間そのものが問われていると言っても過言ではありません

私は返答に窮してしまうことも再々ですが、せめて逃げずに向き合うことだけは止めてはならないと思っています。

私は知的な障がいのあるといわれる人々から、99%の影響を受けてきました。そして、その人々からの問いかけに応えようとする事によって、自らの、人間の在り様を学ぶことができました。

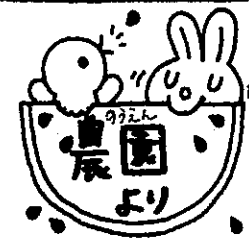
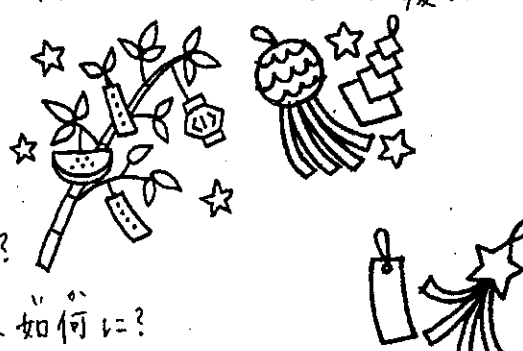
価値なき命はありえないとは言ってもありませんが、一人ひとりの生き様を無価値にし、重症心身障がい者として一括りにしてしまうことこそ、無価値であるという主張を肯定していることにつながるのではなからうかと懸念します。

ひとはは、無残にも命を奪われた人々に思いを寄せながら、一人ひとりの生き様に寄り添えるよう取り組みたいと思います。

機会がありましたら、真摯に生きようとしている仲間たちに声をかけてください。お待ちしております。

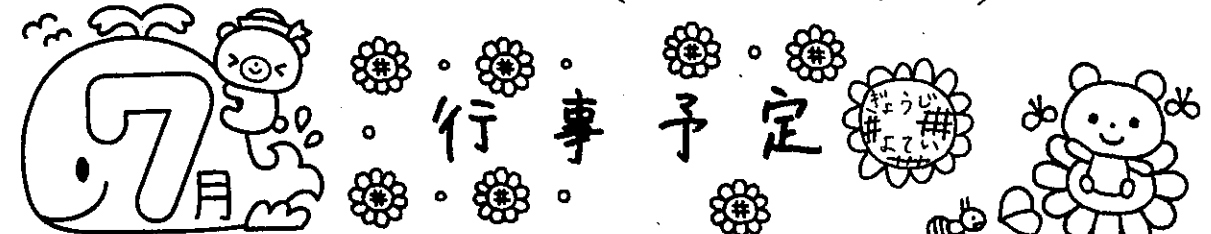
我ありて我等もありて同朋の

生き様をみよ 人なる世にぞ



5年前から挿し木で色々な植物を増やし、コンテナで育ててきました。"ようやく大きくなってきたので、それを使って庭園を造っています。1年前からはいらなくなった瓦を砕いて、周りに敷くチップを作ったり、腐材を使ってコンテナのカバーを作ったり、農園の皆でコツコツ準備をしてきました。まだ計画の3分の1ですが、とても素敵な庭園ができてあります。ひとは工房を検索して、「ひとは工房 facebook」を見ていたけど、作成課程の写真がたくさんあります。また、庭園内でブルーベリー狩りもするので、遊びに来てください。

(ひとは農園 丸岡 洋二)



にち	げつ	か	すい	もく	きん	ど
9	10 ひとは館(休)	11	12	13	14 #	15
16	17 さき亭(休)	18	19	20 #	21	22 ハニーズライヴ (さき亭)
23	24 ひとは館(休)	25	26 トルンイスト 教室 (さき亭)	27	28	29
30	31 ひとは館(休)			#		#



みなさん、はじめまして 増岡 雪枝です。
 Hさんとお話をちょっとだけ聞いてくださいね。
 Hさんはおしゃべりする事ができません。ですが、私とHさんとは
 どのようにしておしゃべりしていると思いますか？
 目と目で、心と心で、おしゃべりしているんですよ。
 今では、Hさんから私に近づいてきてくれて、あちへ連れて行って
 とお願いしてくれたり、お茶をもう一杯ちょうだいよー。と、
 教えてくれたりします。

Hさん、これから仲良くしてくださいね。
 (ひとば 作業所 増岡 雪枝)

ひとばのたまご

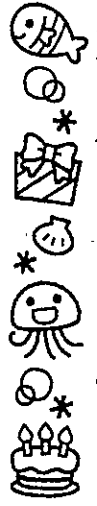
四月からの異動で、8年目にして初めてホームとグループホームに
 入ることになりました。



毎日新しいことの発見と、勉強の連続です。
 何よりも、きらりと土日の休みを一緒に過ごすことについて、これまで
 経験してきた、平日の活動や仕事とはまた違う雰囲気に対し、
 どう一緒に過ごせば良いのか、という難しさを感じています。と同時に、
 楽しさ、面白さもそれ以上に感じており、毎週末が楽しみに
 なっています。
 (共同ホーム 柴坂 尚樹)



今年の4月から就労センターあつこで働くことになりました、
 菅 凌太です。社会人1年目でわからないことばかりで、学ぶことが
 たくさんある日々です。大学の講義だけではわからないこともたくさん
 あり、仲間たちとの接し方も1人ひとり違うので、戸惑うこともありますが
 それでも仲間たちと一緒に働くことは楽しく、働いてみて初めて
 分かること、仲間たちのことを知っていく楽しみもあります。
 これから仲間たちと働いていくなかで、自分のことを仲間たちに知って
 もらい、一緒に楽しく働いていければなと思います。
 (就労センターあつこ 菅 凌太)



くらむぼんより。

6月17日(土)に、保護者会を行いました。今回は、午前中に行って
 いる、就学前のお子さんが利用する「児童発達支援」、午後から行って
 いる、小学生以上のお子さんか利用する「放課後等デイサービス」の2事業
 での合同開催。就学前の年齢から高校生まで、本当に幅広い年齢
 の家族が、バーベキューをしながら交流しました。
 放課後等デイサービスを利用し始めたばかりのお母さんは「普段はお迎えで他のお母さんと
 あいさつをすることはあっても、ちゃんと話をする機会はなかったのだから、話ができてよかった」と
 話していました。また、児童発達支援を利用しているお母さんは「同じテーブルに座った
 ご家族が同じ地域の方で、子ども同士の年齢も近かったのだから、小学校の話をいろいろと聞く
 ことができてよかった」とのことでした。
 児童発達支援と放課後等デイサービスは時間帯が違うため、出会う機会もありませんでした。
 しかし、保護者の立場としては、小学校での生活、中学校、高校、その先の将来...と、ステージ
 移行によって悩みの種が尽きないのはみんな同じです。今回の保護者会を通して、様々な
 年齢のお子さんを持つお父さん、お母さんたちが、ざっくばらんにお話をする機会になり、
 有意義な会になりました。
 (くらむぼん 白井 くに)